

地球環境防災学科の概要



自然との共生と地域の実情に応じた総合的な防災力向上を目指して

【社会のニーズ】

災害に強い国土・地域の構築
[南海トラフ巨大地震, 気候変動に伴う災害激化]

【地域のニーズ】

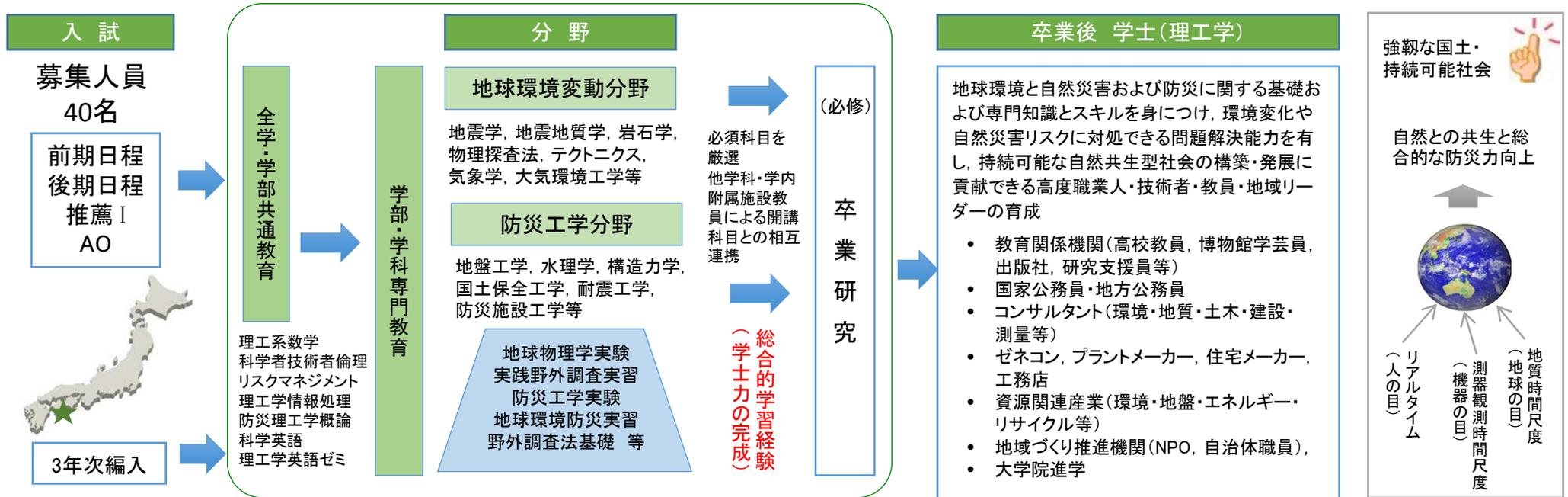
地域の実情に応じた災害予防・軽減策の提案,
自然資源の有効活用と地域リーダー人材の育成

【高知大学自然科学系の資源】

- 海・陸・大気 特徴が凝縮したフィールド
→ 卓越した自然資源・教材・研究対象
- 自然災害科学・地質学・地球物理学(理学部門)・防災工学(農学部門)の多様な人材
- 防災啓発・教育活動を通じた地域との連携

【改革の趣旨・戦略】

- 異なる時間スケールで自然災害を扱っている理学科・応用理学科・農学部の人材を集約, 理工融合教育体系を創出
- 自然現象の本質的理解
プラス 土木・建築の工学的視点に立った
応用教育研究分野の充実



【アドミッションポリシー】

地球の成り立ち, 自然現象の発生機構, 防災を学ぶ意思と基礎学力を有し, 自然との共生や国土の望ましい姿を模索・創造するための広い視野と柔軟な思考力の修得を目指す学生を受け入れる。

【カリキュラムポリシー】

地球環境と自然災害に関する基礎および専門知識と課題探究能力を身につけ, 自然に関わる事象(環境・防災・減災・地域作り)に対して適切な課題設定のもと問題を解決する能力を備えた人材を育成するためのカリキュラムを編成する。

【ディプロマポリシー】

異なる時間スケールで地球環境・自然災害をとらえ, 環境変化や自然災害リスクに対処できる問題解決能力を有し, 持続発展可能で強靱な自然共生型地域社会を構築する意思と能力を涵養する。